

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	R N A 修飾の変動と生命現象
研究代表者	鈴木 勉 (東京大学・大学院工学系研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、代謝産物などの化学物質の量により RNA 修飾が制御されるメカニズムの解明を目的としたものである。新しい分野を展開する基盤となる提案であり、独創性に溢れている。</p> <p>応募者は rRNA や tRNA の修飾で世界でも有数の研究業績を上げており、本研究の遂行によって、十分な研究成果が期待でき、また、mRNA や ncRNA についても、同様に化学修飾や関連する酵素を同定することとしていることから、今後の進展を期待したい。</p>